

グラフ かがしま

Kagoshima Information Magazine
Graph **KAGOSHIMA**

1

Vol.510|2016 JAN.

グラフかがしまの購読料は
年間1,400円(送料込み)
[隔月1日発行]

特集

歴史がはぐくんだ技と手仕事、

本場大島紬の魅力

おいしく・気軽に・ヘルシーに

「かがしま減塩レシピ」

鯛茶漬け

「島々もよう」

硫黄島 (三島村)

「本物。鹿児島県

特産品探訪」

鹿児島しやつ

「薩摩藩英国留学生同行記」

巴里万国博覧会へ参加

「かがしま祭時記」

白起こし (鹿屋市吾平町)





心に響く風景

黒潮の森マングローブパーク

奄美市

奄美大島の南部にある奄美市住用町には、亜熱帯植物が自生する原生林が広がり、国定公園特別保護地区に指定されている、黒潮の森マングローブパークがあります。

マングローブとは、潮の干満で一定の間冠水される熱帯・亜熱帯の湿地帯や、干潟に生息する樹木群の総称です。

ここには、100万年もの間、独自の進化をたどったリュウキウアユをはじめ、国の天然記念物であるルリカケスやアマミノクロウサギなど、希少な動植物が生きています。

緑豊かなマングローブのトンネルは、植物の生命力を感じるダイナミックな自然のアート。この大自然を満喫できるカヌーは大人気で、水面近くから見上げる光景は、一見の価値があります。雄大な森に溶け込んだような感動は、大人も童心に戻ってしまうひとときです。





本場大島紬の織り (糸夢おりの郷：大島郡龍郷町)
約1300年の歴史をもつ本場大島紬は、30以上の複雑な工程を経て完成します。中でも、たて糸とよこ糸を正確に合わせ、美しい模様を生み出す織りの作業は、最後の重要な工程。まさに熟練した職人の技です。

- グラフかごしまを購読しませんか。
定価180円、年間購読料1,400円(送料込み)
11月～3月の3回分700円(送料込み)
平成27年度 購読申し込み 受付中
 - グラフかごしまに広告を載せませんか。
 - グラフかごしまに関する
ご意見・ご感想をお寄せください。
- 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
鹿児島県広報課
TEL : 099-286-2095
FAX : 099-286-2119
E-mail : h-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp



県ホームページアドレス
<http://www.pref.kagoshima.jp/>
県携帯電話用ホームページアドレス
<http://www.pref.kagoshima.jp/mobile/>
県公式ツイッター「鹿児島県政情報」
<http://twitter.com/kagoshimakensei>
県公式フェイスブック「鹿児島県」
<http://www.facebook.com/pref.kagoshima>
鹿児島インターネット放送局「ムーブ!かごしま」
<http://www.pref.kagoshima.jp/movekagoshima/>

営利を目的とする場合を除き、この本をそのまま読むことが困難な方のために「点字図書」「拡大写本」「録音図書」などの読書代替物への媒体変更を行うことは自由です。

4 [知事の年頭挨拶]
「日本一の暮らし先進県」の実現に向けて



6 [特集]
歴史がはぐくんだ技と手仕事、
本場大島紬の魅力

12 [小特集]
鶴丸城御楼門の建設に向けて



[県政トピックス]

- 香港知事トップセールス
- 鹿児島県戦没者追悼式
- 星塚敬愛園創立80周年記念式典
- 国民文化祭・かごしま2015
- 平成27年度 県民表彰式
- 稲盛和夫氏県民栄誉表彰授与式
- 全国障害者芸術・文化祭かごしま大会



17 [ひとつべ! かごしま国文祭]
「ひとつべ!かごしま国文祭」華やかに開催!!
ご協力、ご来場いただきありがとうございました!



18 [共生・協働の地域社会づくり]
水之上地区公民館(垂水市)

19 [おいしく・気軽に・ヘルシーに かごしま減塩レシピ]
鯛茶漬け

20 [島々もよう] 硫黄島(三島村)

21 [本物。鹿児島県特産品探訪]
2015かごしまの新特産品コンクール 鹿児島県特産品協会理事長賞
鹿児島しゃつ
プレゼントコーナー



22 [情報ボックス] お知らせ・催し物案内

24 [旅ルリカケス] かごしまよかとこ巡り
薩摩川内市魅力再発見の旅 (薩摩川内市)

26 イベント情報(1月～3月)

28 [薩摩藩英国留学生同行記] 第5回
バリ万国博覧会へ参加



30 [かごしま祭時記] 白起こし(鹿屋市吾平町)

県政広報番組 テレビ・ラジオ

テレビ

MBC ふるさと かごしま	毎週土曜日 11:15～11:30 リポーターが県内各地に出かけ、県政情報をお伝えます。毎週抽選で素敵な特産品が当たります。	KTS どや!PPT かごしま	毎週土曜日 17:25～17:30 県政トピックスから旬の情報をピックアップし、分かりやすく紹介します。
KYT かごメン!	毎週日曜日 11:45～11:50 県の旬な話題、施策、県有施設、各地域振興局・支庁の取組を、鹿児島で活躍する熱いメンズがリポーター役となり、分かりやすく紹介します。	KKB かごしま ひと	毎週土曜日 17:55～18:00 かごしまで頑張っている「ひと」に焦点をあてつつ県の施策や県政の動きをわかりやすく紹介します。

◎ 最新の番組内容を、県ホームページトップページ→広報→県政テレビ・ラジオ番組からご覧いただけます。

ラジオ

MBC むっちゃんの 「いきいき鹿児島!」	毎週木曜日 18:50～19:00 県の行事・イベント、制度等を「むっちゃん」のかごま(鹿児島)弁とともに、アナウンサーと県職員等による対談で、分かりやすく紹介します。	ミューFM かごしま info ラジオ	毎週月曜～金曜日 8:35～8:40 県の行事・イベント、制度等をさわやかなBGMにのせてアナウンス等で分かりやすく紹介します。
-----------------------------	---	---------------------------	---



関吉の疎水溝



寺山炭窯跡



「日本一のくらし先進県」 の実現に向けて

新年、明けましておめでとうございます。

県民の皆様には、日頃から、県政の推進に多大な御支援を賜り、心から感謝を申し上げます。

現在、我が国は、グローバル化の急速な進展、本格的な人口減少や少子高齢化の進行、地域間格差の拡大、国・地方を通じた厳しい財政状況など多くの課題に直面しています。また、「一億総活躍社会」に向けて緊急的に実施すべき施策や、環太平洋パートナーシップ（TPP）協定の大筋合意を踏まえた実効ある対策などの、速やかな展開が望まれます。

このような時代の大きな変革期を迎える中において、本県の地域特性や可能性を最大限に生かしながら、更なる県勢の浮揚発展を図りつつ、県民一人ひとりが安全な県土の下で、生涯安心して働き、安定した生活を送ることができるよう、社会資本の整備、農林水産業や観光をはじめとする諸産業の振興、雇用の促進、環境問題への対応など、県政の諸問題に対応するとともに、県民生活に直結する、医療や福祉、介護、教育などの分野に特に重点を置いて、今後の施策を進めることが重要であります。

さて、昨年は、口永良部島での爆発的噴火など火山活動の高まりや台風15号による暴風雨の発生など自然の驚異にさらされ、不断の防災対策の重要性に思いを致した年でした。

また、本県の資産を含む「明治日本の産業革命遺産」がユネスコの世界文化遺産に登録されました。これは、産業国家日本の礎を築いた先人

旧集成館
機械工場 (尚古集成館本館)



旧集成館
旧鹿児島紡績所技師館 (異人館)



旧集成館
反射炉跡 (仙巖園内)



たちの偉業が改めて評価されたものです。そして、明治維新150周年の節目を迎えるに当たって、明治維新の意義を改めて考えていく上での契機となるものでもあります。

秋には、「第30回国民文化祭・かごしま2015」が、皇太子同妃両殿下の御臨席を仰ぎ、「本物。鹿児島県く文化維新は黒潮に乗って」をテーマに、県内全ての43市町村で155の多彩なイベントが実施されました。おもてなしの心にあふれた大会となるとともに、「本物。鹿児島県」の魅力の情報発信にもつながったものと考えています。

引き続き、本県の豊かな自然や個性ある歴史・文化、多様な食材など全国に誇れる本物の素材、アジアへの玄関口や食料供給基地としての役割など、多くの発展可能性を最大限に生かして、様々なプロジェクトを着実に進めてまいります。

今後とも、県政の課題であります「子どもからお年寄りまですべての県民にとって優しく温もりのある社会」の形成を目指し、県民の心を我が心とし、「力みなぎる・かごしま」、「日本一のくらし先進県」の実現に取り組んでまいりますので、引き続き、県政に御関心をお寄せいただき、御支援・御協力くださるようお願いいたします。

県民の皆様にとりまして、新しい年が輝かしく幸多い年でありますことを心から祈念いたします。



平成二十八年元旦
鹿児島県知事 伊藤祐一郎



《特集》

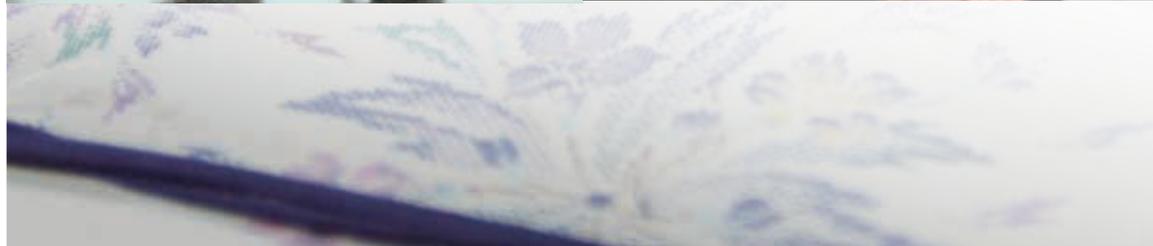
歴史がはぐくんだ技と手仕事、

本場大島紬の魅力

本場大島紬の起源は、1300年以前にさかのぼり、わが国で最も長い歴史と伝統をもつ織物の一つです。

本場大島紬は、奄美大島を発祥とする絹織物ですが、県本土でも生産されるようになり、昭和50年には、国の伝統的工芸品の第一号として指定を受けました。

長い歴史がはぐくんだ技と伝統、職人の細やかな手仕事を追い、気品と光沢のある本場大島紬の魅力に迫ります。



本場大島紬の歴史

奄美の島々は、「海上の道の島」として、日本本土と南方や大陸との交易通路として重要な役割を果たしてきました。そのような中で、南北の文化の影響を受け、大島紬は生まれ、発達してきました。

中でも、奄美大島では、琉球の影響を受けて、昔からさまざまな材料で布が織られていました。養蚕の技術が伝わり、芭蕉糸と交織したり、身近な植物で染めたりと、縞や格子など自由な糸の組み合わせで布を織り上げていました。

やがて、奄美の自然に多いソテツやハブのうろこなど、複雑な模様の紬が作られ始めました。また、島に自生する植物、テーチ木（車輪梅）と鉄分の多い田の泥で染める独特の染色法「泥染」が生まれ、その色調と風合いの良



さから珍重される絹織物になり、薩摩藩への献上品として重用されました。大島紬が全国的に知られ、生産が伸び始めたのは、今から100年ほど前。生産が伸びるなかで、「しめぼた」が発案され、細かく美しい模様が作られるようになりました。さらに、織りばたも変化し、今と同じ「高ばた」になりました。



大島紬は、奄美大島の生活を支える産業として発展し、やがて奄美大島だけでなく、鹿児島市を中心とした県本土でも生産されるようになりました。

さらに、技術開発が進み、ますます進化した大島紬は、伝統的な泥大島や藍を交えて染める泥藍大島をはじめ、色大島や白大島など、色・柄・風合いのバリエーションが広がっています。

しかし近年、ライフスタイルの洋風化や、和装を着用する機会が減ったことなどから、需要が低迷し、昭和50年代をピークに、生産量・生産額とも大きく減少しています。さらに、技術者の高齢化や後継者不足による技術継承の課題も抱えています。

そこで、大島紬の振興を図ろうと、県や産地組合では、試着体験や現代のニーズに合った商品の開発、洋装やインターネット販売などへの製品化、インターネット販売、海外への展開など、さまざまな取り組みを行っています。

本場大島紬の特徴

大島紬は、独特の泥染の技法や緻密な柄模様が特徴の絹織物で、軽くて暖かく、しなやかで着崩れにくいという特徴があります。また、着込めば着込むほど肌なじみ着心地が良く、しわになりにくいことから、きもの愛好家にも大島紬ファンが多いのです。



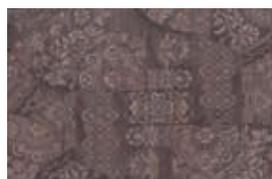
-白大島-



-泥染大島-



-泥藍大島-



-植物染大島-



-藍大島-



-色大島-

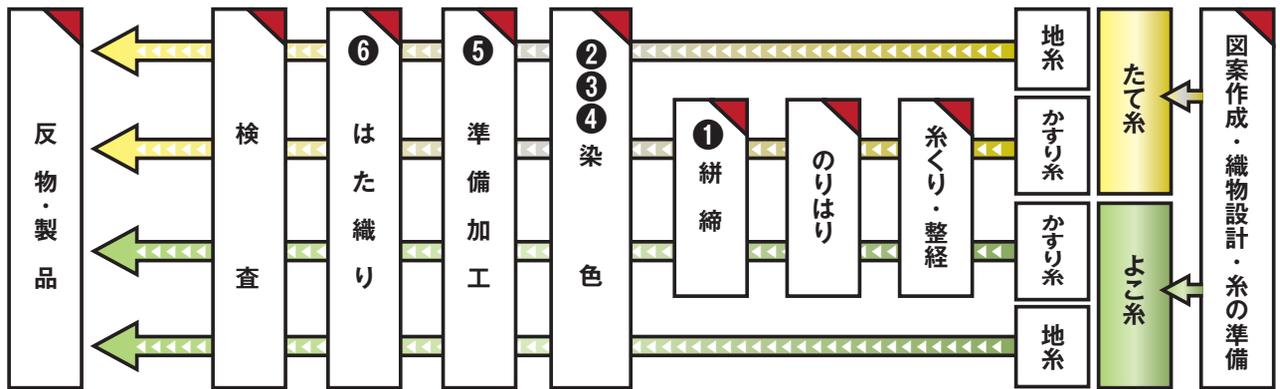
本場大島紬の製造工程

大島紬の工程は、約30工程あり、図案から織り上げるまで、半年近くかかります。一つ一つの工程が、非常に複雑で、高度な技術が求められます。

絹糸12〜16本を束ねてのりで固め、「しめばた」を使って、図案に合わせて、木綿糸で強く締めつけていきます(写真①**拵締**)。締めた部分は染まらないため、拵模様が生まれます。拵締は強い力を要することから、主に男性が行います。

次に染めの工程では、泥染の場合、テーチ木(車輪梅)を煮詰めた液(写真②)で染めた後、泥田で揉み込みます(写真③)。テーチ木のタンニンと泥田の鉄分が反応し、光沢のある漆黒へと染まります。色差しをする場合は、染める部分の木綿糸をほごき、染料をすりこんでいきます(写真④)。すべての染色が終わると、木綿糸をとり、絹糸を取り出し、たて糸を織機にかけ(写真⑤)、よこ糸を杼(シャトル)に収めます。

織機を使い、たて糸とよこ糸を正確に合わせながら、緻密な模様を織り上げていきます(写真⑥)。



有限会社金井工芸
染色家
かない 志人さん
ゆきひと

自然の恵みに感謝して、 泥染めの魅力を発信

大島紬の泥染めは、テーチ木の染料と泥で反応させ、川で泥を洗い流すという作業を100回近く繰り返します。そうして色が徐々に重なっけていき、紬特有の深みのある漆黒に染まっけていきます。

古来から伝わる伝統技法を守りながら、大島紬の魅力と、泥染めを多くの方に知っていただくために、染めの体験やワークショップを開催しています。島外からも多くの方が体験に来られ、着古した衣服やさまざまなアイテムを染め直し、泥染めで自分だけのオリジナル作品を作れるのが魅力です。最近では、サンゴの欠片や和紙などを染めて、オブジェとして染めの作品を制作しています。

これからも、常に自然に沿ったフラットな視点で、既成にないものと大島紬との両輪で、作品を生み出して、染めの魅力と伝統文化、奄美の自然や先人の知恵を発信していきたいですね。

本場大島紬の振興を目指して

本場大島紬の普及や安定した需要を目指して、産地組合も積極的に活動しています。

長さ、緋の仕上がり、色合いなど20項目の厳しい検査に合格した反物だけに品質を保証する商標がつけられます。



〔 清泉女子大学でのキャンパスコレクション 〕

「本場大島紬大使に任命された宮下純一さん」



本場大島紬 織物協同組合

創立100周年を迎える本場大島紬織物協同組合では、新たに本県出身の北京オリンピックメダリストの宮下純一さんを本場大島紬大使に任命。

また、旧島津公爵邸にキャンパスを構える清泉女子大学（東京都品川区）における、学生の試着体験やワークショップなど、若い世代や県外への普及活動にも取り組んでいます。

問 電話 099(204)7550



〔 商標（旗印） 〕



〔 試着体験や、大島紬のハギレを使った小物づくり 〕

本場奄美大島紬 協同組合

本場奄美大島紬協同組合では、本場大島紬の発祥地ならではの活動を行っています。奄美の豊かな自然と風土がもたらす地域性を活かして、伝統技術を伝承する、技術専門学院を運営しています。

また、子どもたちの泥染め体験学習や、京都の西陣織とコラボレーションして合同展示会を開催するなど、普及啓蒙に積極的に取り組んでいます。

本組合のある奄美市では、昭和53年から毎年1月5日を「紬の日」と制定し、紬を着用して、本場奄美大島紬への認識を深める取り組みも行っています。

問 電話 0997(52)3411



〔 西陣織とのコラボレーション展示会 〕



〔 本場奄美大島紬技術専門学院 〕



〔 子どもたちの泥染め体験 〕



〔 商標（地球印） 〕

鶴丸城

GOROUMON

御楼門の建設に向けて

[御楼門(尚古集成館蔵)]

鹿児島城(鶴丸城)は、慶長6年(1601年)に島津家第18代当主家久が建設に着手した島津氏の居城で、本丸・二の丸からなり、本丸の大手門(正門)である御楼門がありましたが、明治6年(1873年)の火災で本丸などとともに消失し、現在に至っています。

現在、鶴丸城跡(現鹿児島県歴史資料センター黎明館(鹿児島市城山町))において計画されている鶴丸城御楼門および御角櫓の建設について、取り組みなどを紹介します。

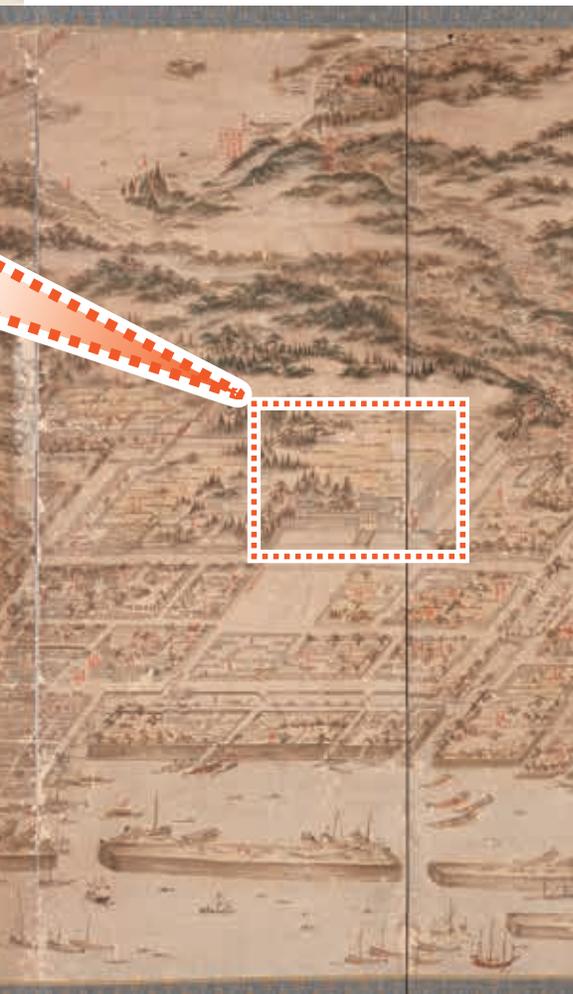
● 御楼門とは

御楼門は、鶴丸城の大手門(正門)で、高さ約18メートル、幅約20メートルの堂々たる武家門でした。特に主柱の幅は3尺(約0・9メートル)もある大きな門であったとされています。

火災で消失する前の明治初期に撮影された写真や、残されていた礎石の痕跡から、主柱や脇柱などの大きさが判明しており、類似例や文献資料などを参考に建設することとしています。



[御楼門建設予定地]



● 建設の意義

御楼門の建設についてはさまざまな意見がありました。平成25年4月に鹿児島県経済同友会を中心として、経済界や個人による募金などを主な財源とする復元計画が提言され、その後発足した「鶴丸城御楼門復元実行委員会」が、企業や個人に対して寄附金の募集を行った結果、目標額を上回る寄附が集まりました。

この取り組みは、民間が主導する新たな官民連携の一つのモデルであり、また、歴史や文化、「なまこ壁」や「入母屋づくり」といった建築技術の継承のほか、新たな観光拠点づくりとしても意義あるものです。

また、御楼門が鹿児島島の新しいシンボルとなり、文化施設などが集中する鹿児島市城山町、山下町一帯の「かごしま文化ゾーン」が充実することで、鹿児島中央駅から天文館、かごしま文化ゾーンへの人の流れが創出され、経済が活性化することも期待されます。

● 建設に向けて

平成27年2月、県と「鶴丸城御楼門復元実行委員会」は「鶴丸城御楼門建設協議会」を設立し、御楼門の建設に取り組むこととしました。同協議会では、平成32年3月の完成に向け、現在、必要な作業を進めているところです。



【御角櫓(尚古集成館蔵)】

また、御楼門と連なり城郭を構成する重要な建物である「御角櫓」についても、県において、建設することとしています。御角櫓は、本丸の南東角に位置し、城の防衛とともに美観や威厳を保つ役目を持つ施設で、物品収蔵施設としての用途もあったものとされています。尚古集成館所蔵の奥日記の一つである「表方御右筆間日記」には、篤姫が御角櫓から祇園祭を見物したことが記載されています。

● 岐阜県の協力

宝暦治水工事の偉業を縁に鹿児島県と姉妹県盟約を締結している岐阜県では、御楼門建設に岐阜県産木材を提供することで鹿児島県との友好の証を示し、両県の絆を深めようと、平成27年12月7日、「鹿児島県との友好の証プロジェクト実行委員会」を設立。同月17日には、提供木である岐阜県産ケヤキの伐採式が実施されました。

募集しています!

◎御楼門などの資料を探しています

現在、明治初期に撮影された写真しか確認されていないため、県では、鶴丸城御楼門や御角櫓の写真など、資料を集めています。写真などの資料をお持ちの方はご連絡ください。

◎大径木についての情報をお寄せください

御楼門の建設には、直径1メートルを超えるような丸太の大径木が約10本必要です。協議会では、平成27年11月に岐阜市で開催された「全国銘木展示大会」において、御楼門の鏡柱などの候補となる「ケヤキ」(直径110センチメートル・長さ約10メートル)を一本調達しました。建設に必要な大径木について、所有者や木材関係業者の方々からの情報を広く募集しています。



※募集内容など詳しくは、県ホームページをご覧ください。

県ホームページ>教育・文化・交流>文化・芸術>鶴丸城御楼門・御角櫓

【問い合わせ先】

県庁生活・文化課 ☎099-286-2534



【天保年間鹿児島城下絵図(鹿児島市立美術館蔵)】

県政の動き

10月11日(日)～12月10日(木)

- 10月12日(月) 鹿児島ーソウル線就航25周年大韓航空訪問
- 10月14日(水) 知事と鹿児島市長との意見交換会
- 10月18日(日)～19日(月) ★香港知事トップセールス
- 10月23日(金)～25日(日) 再生可能エネルギーフェア2015
- 10月25日(日) かがしま動物愛護のつどい2015
- 10月28日(水) ★鹿児島県戦没者追悼式
- 10月28日(水) ★星塚敬愛園創立80周年記念式典
- 10月31日(土)～11月15日(日) ★国民文化祭・かがしま2015
- 11月1日(日) オレンジリボン(児童虐待防止)街頭キャンペーン
- 11月2日(月) ★平成27年度 県民表彰式
- 11月12日(木)～25日(水) 女性に対する暴力をなくす運動
- 11月16日(月) ★稲盛和夫氏県民栄誉表彰授与式
- 11月16日(月) 京都賞受賞者鹿児島講演会
- 11月27日(金)～29日(日) ★全国障害者芸術・文化祭かがしま大会
- 11月28日(土)～29日(日) かがしまの島々フェア
- 11月29日(日) 原子力発電等に係る住民説明会

★は写真入りで紹介

10月18日(日)～10月19日(月)

香港知事トップセールス



伊藤知事は県議会や経済界代表者らと香港を訪問し、本県が誇る県産品の販路拡大を図るため、トップセールスを行った。10月18日には、国の交付金を活用した鹿児島フェアを展開している「板長寿司」を視察するとともに、同社の代表者らと県産食材の販路拡大などの可能性について意見交換を行った。

翌日は、11月末日まで日本料理店「なだ万」にて開催された「鹿児島美食フェア」のオープニングセレブションで、香港政府、メディアなどに県産品・観光などのPRを行うとともに株式会社なだ万社長・木浦信敏氏(薩摩大使)に対し、「鹿児島県農林水産品推奨レストラン認定証」を授与した。



10月28日(水)

鹿児島県戦没者追悼式



戊辰戦争から太平洋戦争までの間、犠牲となられた本県出身戦没者や、空襲などの戦災で亡くなった方を追悼し、平和を祈念するため、「第51回鹿児島県戦没者追悼式」を開催し、遺族など約1200人が参列した。

知事は式辞で、追悼の意を表するとともに、戦禍に倒れた方々の思いをあらためて深く胸に刻み、県民一人一人が生涯にわたり、心豊かで安心・安全な生活を送ることができるよう取り組むことを誓った。

また、今年は戦後70年の節目の年であり、小中学生と高校生8人が参列し、献花を行った。



星塚敬愛園創立80周年記念式典



鹿屋市の国立療養所星塚敬愛園では、10月28日に開園80周年を記念した式典が開催され、入所者自治会長から苦難の歴史を後世に伝えつつ、明るい将来に向かって皆さまとともに歩んでいきたいと挨拶があった。

祝賀会も、入所者をはじめ地域住民など多数の出席があり大盛況だった。

また、10月13日から14日にかけては、入所者の方々の県内めぐり・県庁訪問で、さつま町の観音滝公園などを見学したほか、県庁を訪問して伊藤知事と懇談した。知事の歓迎挨拶後、入所者の方々から、今後とも私共に寄り添ってほしい。また、来年も参加したいとの声が聞かれた。



第30回国民文化祭・かごしま2015



「本物。鹿児島県く文化維新は黒潮に乗って」をテーマに、国内最大の文化の祭典「第30回国民文化祭・かごしま2015」を開催した。

皇太子同妃両殿下の御臨席を賜り、県内の伝統芸能をはじめ、さまざまな文化団体がストーリー性に満ちた県民の物語を展開した「開会式・オープニングフェスティバル」を皮切りに、県内43全ての市町村で155もの多彩なイベントが開催された。

大会には、県内外から約4万人の出演者を含む延べ約163万人の参加があり、おもてなしの心にあふれた鹿児島ならではの県民総参加の大会を実現するとともに、「本物。鹿児島県」の多彩な魅力を情報発信することができた。



稲盛和夫氏県民荣誉表彰授与式



県では、広く県民に敬愛され、社会に明るい希望と活力を与えるとともに、鹿児島県の名を高めることに顕著な功績を挙げられた個人や団体を「県民荣誉表彰」として表彰している。

今回は、京セラ株式会社名誉会長、稲盛財団理事長の稲盛和夫氏（鹿児島市出身）に、伊藤知事から表彰状および記念品が贈呈された。

稲盛氏は、長年にわたり、鹿児島県の産業振興をはじめ県人会、文化振興活動に尽力され、鹿児島島の京都賞受賞者講演会の開催や国際交流の発展のため私財を寄附されるなど、郷土愛に満ちたさまざまな社会活動を通して、本県の発展に多大な貢献をされている。



平成27年度 県民表彰式



前列左から、豊永さん、田中さん、長瀬さん、伊藤知事、園田さん、松崎さん

県では、県民の福祉に貢献し、特に顕著な功績を挙げられた個人や団体を「県民表彰」として表彰している。

本年度は5人の方々を表彰した。

《教育文化スポーツ部門》

長瀬 義人 さん

【現 鹿児島ウインドアンサンブル顧問】

県立高等学校教諭や鹿児島大学非常勤講師として、長年にわたり、広く音楽教育の普及に取り組まれるとともに、鹿児島ウインドアンサンブル主宰、鹿児島交響楽団団長などとして、本県の音楽文化の発展に大きく寄与されている。

《保健福祉部門》

園田 勝男 さん

【元 鹿屋市医師会会長】

鹿屋市医師会会長として、「鹿屋方式」と呼ばれる小児救急医療体制の確立に尽力されたほか、「親子体験健康教室」を開催し、地域住民の健康増進に努められるなど、地域医療の活動を通じて、地域社会の発展に大きく貢献された。

《産業経済部門》

田中 憲夫 さん

【元 川内商工会議所会頭】

川内商工会議所会頭として、行政や農協などの3者連携による商工振興体制の立ち上げに尽力されたほか、産業廃棄物最終処分場の建設促進に取り組まれるなど、幅広い活動を通じて産業経済の発展に大きく貢献された。

松崎 俊明 さん

【元 鹿児島県農業協同組合中央会会長】

鹿児島県農業協同組合中央会会長などとして、IT技術を活用した経営管理支援の強化や、「総合ポイント制度」の構築などにより、組合員の経営安定・生活向上に尽力され、農業の振興と産業経済の発展に大きく貢献された。

《くらし・環境部門》

豊永 義夫 さん

【元 鹿児島市消防団長】

鹿児島市消防団長として、長年にわたり消防活動と地域防災体制の充実に努められるとともに、女性消防団員などの後進の指導育成に尽力されるなど、県民が安心して暮らせる社会の実現に大きく貢献された。

第15回全国障害者芸術・文化祭かごしま大会



「第15回全国障害者芸術・文化祭かごしま大会（愛称：ふれ愛・アートフェスタかごしま）」をかごしま県民交流センターで開催した。

大会では、「障害のある人もない人もみんなで楽しみ、交流でつながるアートの輪！」をコンセプトに、全国障害者美術・文芸作品展やステージイベント、ワークショップ、バリアフリー映画祭など多彩なイベントを実施した。

3日間で約1万7000人が参加・来場し、それぞれのイベントでは、障害や年齢の垣根を越えて、多くの人が出会い、全ての人との「ふれ愛」を紡ぐ交流の輪が広がった。

ひっとべ!

本物。鹿児島県 ~文化維新は黒潮に乗って~

かごしま国文祭

[平成27年10月31日(土)~11月15日(日)]



「ひっとべ!かごしま国文祭」
華やかに開催!!

「第30回国民文化祭・かごしま2015」が「本物。鹿児島県文化維新は黒潮に乗って」をテーマに、平成27年10月31日(土)から11月15日(日)までの16日間、県内43全ての市町村を舞台に開催されました。

音楽・演劇・伝統・郷土芸能・歴史文化などの分野で、155もの多彩なイベントを開催し、県内外から延べ約163万人の皆さまに参加いただきました。

大会初日の「開会式・オープニングフェスティバル」は、皇太子同妃両殿下の御臨席を賜り、国文祭初の試みとして、鹿児島市と離島の種子島、奄美大島の3会場を生中継で結び開催。県内の伝統芸能をはじめ、さまざまな文化団体、総勢1320名がストーリー性に満ちた県民の物語を展開し、華やかな幕開けを飾りました。

●ご協力、ご来場いただきありがとうございました!

本県では、奄美や種子島など、離島をも本格的な開催会場とする国民文化祭として、南北約600キロメートルにわたる広大な県土を舞台に、連日、おもてなしの心にあふれた鹿児島ならではのイベントを展開し、各地で県内外からの大勢の出演者や観客で賑わいました。

多くの皆さまが参加し、ともに創り上げていく中で、個性ある歴史や食の宝庫

である鹿児島を象徴した食文化、離島の魅力などを全国に発信するとともに、文化芸術のすばらしさを再認識し、今後の鹿児島の文化の更なる飛躍への契機となりました。

出演いただいた方々はもとより、市町村やボランティアの方々、出展・協賛をいただいた企業・団体など、多くの方々のご支援、ご協力に、心から感謝を申し上げます。



闘牛フォーラム in とくのしま (伊仙町)



和太鼓の祭典 (出水市)



まちなかインスタレーション (鹿児島県)



洋舞フェスティバル (鹿児島市)



華道の祭典 in 種子島 (西之表市)

【問い合わせ先】

県庁生活・文化課
国民文化祭室
☎099 (286) 2863



<http://kagoshima-kokubunsai.jp/>

かごしま国文祭

検索



HITTOBE! KAGOSHIMA KOKUBUNSAI

共生・協働の地域社会づくり

みずのうえ
水之上地区公民館
TEL 0994 (32) 1597

「力を合わせ、行動を起こそう」

住みよい水之上を目指して

垂水市水之上地区は、市の中央部を流れる本城川の河口から4kmほどの上流部に位置する農村集落で、本城、高城、新御堂の3つの地域、19の振興会で構成され、人口1704人、833世帯で高齢化率は35%となっています。

地区では、平成24年度から10年間の地域振興計画「三和づくり計画」を策定し、地域活動を実践しています。この計画は、住民主体のものになるよう、策定委員会を中心に住民アンケートで寄せられた意見やアイデアをもとに、何度も案を練りながら策定しました。福祉、教育、環境など13の項目ごとに「水之上はこうありたい」という目標を設定しました。

住民が役割分担し、連携・協力して計画を実践していく仕組みの一つとして、毎年、地区公民館で「水之上生活笑楽校」を開催しています。各家庭の自慢料理を一品ずつ持ち寄り、みんなで飲みながら食べながら地区の現状や将来を話し合っています。今年で4回目を迎え、「堅苦しくならず、いかに多くの人に集まってもら



水之上生活笑楽校

えるか」を念頭に住民の率直な意見を聴く場として定着し、出された意見やアイデアは地域活動にも反映されています。観光の分野では、地区在住のご夫婦が長年にわたり育てられ、市の新たな観光名所となった「垂水千本イチョウ」を垂水の宝として地区全体で大切にしていこうと、見頃を迎える毎年11月に、住民が協力して敷地内とその周辺の清掃作業を行っています。農業の分野では、耕作放棄地の増加を防ぐため、「三和営農組合」を設立し農作業受託を行っているほか、本城川流域の草払いや、道路沿いへの菜の花、彼岸花、コスモスの植栽など、農村景観の保全にも積極的に取り組んでいます。伝統行事の分野では、三百年以上前から続く女男河原祭りや、手貫神社の豊年祭などの継承を通して、住民に地域の歴史や文化への愛着を持ってもらうための取り組みも長く続けています。今後の課題は、「それぞれ地域活動の取り組みの趣旨を住民にうまく伝



千本イチョウ（イチョウ並木）



代表者からひとこと

(右) 館長の田原 正人さん
水之上が元気になる取組を粘り強く進めていきます。

(左) 主事の中馬 英機さん
皆さんが望んでいることを確認し、少しずつでもいろいろな取組を前に進めていきたいです。

える工夫をすること」です。将来の展望は、本城川を中心とした自然環境や伝統行事を大切にしながら、子どもや若者、高齢者に「水之上に暮らしてよかった」と心豊かに思ってもらえるような地域とすることであり、そのために、人と人との連携を図りながら、少しずつ住民を巻き込んでいきたいと田原公民館長は語りま



千本イチョウ（清掃集合）

共生・協働の地域社会づくりや
NPO法人に関する問い合わせ先

◎共生・協働推進課（県庁9階） TEL 099(286) 2241
◎共生・協働センター（かごしま県民交流センター内） TEL 099(221) 6613
関連情報は、県ホームページの「共生・協働（NPO・ボランティア）」にも掲載しています。

おいしく・気軽に・ヘルシーに

かごしま減塩レシピ

VOLUME 11

減塩レシピ集



一般の方から投稿していただいたレシピをまとめました！ぜひホームページをご覧ください。



かんたんヘルシー減塩レシピQRコード

鹿児島県 かんたんヘルシー減塩レシピ

検索

丼物・麺類

鯛茶漬け



《食塩を無理なく減らすポイント》 だし汁や香りのある食材を使うことで旨味や風味が加わります。

材料(2人分)

- 鯛 100g
- ごぼう 60g
- みずな 20g
- ご飯 100g×2
- こいくちしょうゆ 小さじ1
- ごま 少々
- かつお節のだし汁 160ml

- B
- 練りごま 6g
 - 麦みそ 6g
 - 三温糖 小さじ1強(4ml)

- A
- こいくちしょうゆ 小さじ2分の1
 - 清酒 小さじ2分の1強(3ml)
 - みりん 小さじ3分の1

作り方

- 鯛はそぎ切りにし、Aで味つけする。
- ごぼうは食べやすい長さに切り、柔らかくなるまで茹でる。みずなも食べやすい大きさに切る。
- 下味をつけた鯛を、焦がさないように焼く。
- 茹でたごぼうを袋に入れ、たたいてBで和える。
- 鍋にかつお節のだし汁を入れ、こいくちしょうゆで調味する。
- どんぶりにご飯をよそい、焼いた鯛、ごぼう、みずな、ごまを盛りつける。食べる前に5.をそそぐ。
● 好みで、きざみのり、わさび、ゆずの皮などを盛りつける。

【POINT】 練りごまと麦みそで味付けしたごぼうが、食感、味付けのポイントです。ごぼうが入るので噛む回数も増え、満足感も得られます。鯛は刺身を用いてもおいしいと思います。【レシピ作成/山領美雪様(鹿児島市)】

鹿児島島の旬の食材を使用し、塩分は控えめ・おいしさはたっぷりの減塩レシピをご紹介します。

食塩摂取量の目標(成人男女平均)は、1日あたり8グラム未満。これに対して、鹿児島県民の食塩摂取量は、1日あたり10・3グラムです。目標に近づくため、食塩を1日2グラム減らした食生活を心がけ、生活習慣病をおいしく予防しましょう。

今回使用する旬の食材は鯛です。鯛は、日本料理の代表的な白身魚です。たんぱく質を多く含み、グルタミン酸やタウリンなどのアミノ酸を含んでいます。また、皮膚や粘膜の健康維持を助けるビタミンB群の一つであるナイアシンが多く含まれています。

鹿児島県では、北薩地区、西薩地区、鹿児島湾地区で盛んに水揚げされており、県産のマダイは味・姿が良いことから、全国的に高い評価を得ています。

栄養成分：1人あたり

エネルギー	340kcal
たんぱく質	16.1g
脂質	8.3g
炭水化物	47.0g
食物繊維	3.0g
食塩相当量	1.1g



鹿児島県は離島の人口と面積が全国1位の県です。今回は三島村の「硫黄島」を紹介します。

大地の鼓動と情熱のビートが鳴り響く

しま じま

島々

もよう

vol. 11

lojima

硫黄島

火山がつくった
雄大な自然と景観

山頂からたびたび噴煙を上げる硫黄岳。鉄分を含む温泉の噴出により褐色に染まる海。硫黄島は、大地の鼓動を肌で感じられる火山の島です。三島村の3つの島の真ん中にあり、薩摩半島南端から南へ約40キロの位置に浮かんでいます。この島は約7300年前（諸説あり）の巨大噴火で形成された「鬼界カルデラ」の一部であり、その中央火口丘にあたります。



東温泉



メンドン

『平家物語』ゆかりの島
安元3年（1177年）に鹿ヶ谷事件で俊寛・藤原成経・平康頼が流された「鬼界ヶ島」は硫黄島とされています。ちなみに『平家物語』では、「高き山あり。としなへに火燃ゆ。硫黄と云ふ物充ち満てり」と島の様子を伝えています。俊寛の死後に島民がその住居跡に建てた神社とされ

平成27年9月には、独特の自然環境や歴史などが評価され、三島村全域が「三島村・鬼界カルデラジオパーク」として日本ジオパークに認定されました。

火山活動は恵みももたらし、かつては硫黄採掘が島の主産業でもありました（昭和39年に閉山）。最近では地熱を活用した新たな事業が検討されています。また、島のあちこちに温泉が湧き出し、東温泉や坂本温泉といった野趣あふれる海辺の露天風呂も温泉好きを惹きつけています。



「俊寛堂」、藤原成経と平康頼が建てたという「熊野神社」など、ゆかりのある史跡も残っています。平成23年には、故中村勘三郎一門による野外歌舞伎「俊寛」が、硫黄島で15年ぶりに再演され、砂浜に竹や松をあしらった自然の舞台で、熱演が披露されました。

平成23年には、故中村勘三郎一門による野外歌舞伎「俊寛」が、硫黄島で15年ぶりに再演され、砂浜に竹や松をあしらった自然の舞台で、熱演が披露されました。



島々メモ 火の島に息づく アフリカンビート

ジャンベという西アフリカの伝統的打楽器が、島のイベントなど、いろいろな場面を盛り上げています。ジャンベと硫黄島との関係は、平成6年にギニア共和国のトップ奏者であるママディ・ケイタが島を訪れてから始まりました。交流は続き、平成16年にはママディのプロデュースによる「みしまジャンベスクール」が開校しました。毎年秋には、国内外の奏者が参加するジャンベフェスティバルも開催されています。



【位置】北緯30度47分35秒／東経130度18分19秒

【面積】11.74km² 【周囲】14.5km

【人口】126人（平成27年12月1日現在）

【島名由来】「古来、硫黄を産す」ことから（『三国名勝図会』より）

【地形】東西6km、南北3km。硫黄岳（標高704m）を最高点とする火山島。

【主な産業】畜産（肉牛など）・漁業（イセエビなど）

【アクセス】鹿児島港より村営の「フェリーみしま」が運航。週に3便。鹿児島港からの所要時間は約220分。

週2回、鹿児島空港からセスナ機も運航。所要時間は約50分。

問い合わせ先：三島村役場 ☎099（222）3141

（所在地は鹿児島市内）

本物。品訪

鹿児島真産特探

2015かごしまの新特産品コンクール
鹿児島県特産品協会理事長賞

鹿児島しゃつ

鹿児島の伝統的工芸品「大島紬」と奄美大島産「マベ貝」のボタンを使用し、鹿児島自社工場生産される、まさに鹿児島生まれの「鹿児島しゃつ」。

「高山CHOYAソーイング株式会社」取締役社長の阪本英信さんにお話を伺いました。

商品のアイデアは

鹿児島の伝統的工芸品である大島紬をもっと身近に感じてもらえる商品を作りたいという思いから、紬とシャツを組み合わせるといった構想が20年くらい前からありました。

近年、クールビズの影響でデザイン性の高いシャツが流行っていますが、少し派手になりすぎていると感じていました。伝統工芸の良さが味わえて、さりげないおしゃれが楽しめるシャツをと開発したのが「鹿児島しゃつ」です。

商品の特徴を教えてください

「鹿児島しゃつ」は、6年前に当社が開発した「エコロジーシャツ（エコシャツ）」の衿や袖口に大島紬をあしらひ、ボタンに上品な光沢を放つ奄美大島産のマベ貝を使用した商品です。肝付町にある自社工場生産し、「鹿児島しゃつ」として商標登録しています。「エコシャツ」は天然素材（綿100%）を使用し、形態安定加工をしていながら肌触りの良い生地が特徴。「石油製品を使わない」、「アイロンが要らない」、「クリーニング代節約」で「エコシャツ」です。

今後の抱負を聞かせてください

「鹿児島しゃつ」のデザインは4パターン、生地との組み合わせで20種類があります。自社ネットショップ「未来シャツ物語」や鹿児島市内のデパートなどで販売しているほか、地元金融機関やホテルの制服に採用されるなど好評をいただいています。

現在、女性物のシャツも商品化に向けて試作中。今後はさらにデザインの幅を広げ、カラフルな紬生地なども取り入れてみたいと思っています。買った方に満足していただける商品作りを心がけていきたいです。



オーダーシャツから既製品まで1日1000着のシャツを生産

商品化した当初は、洗濯すると紬生地が色落ちしたり、縮んで皺になったりするといった問題がありました。特殊な色止め加工やウォッシュ加工を施すことで解決することができました。



「誰にもまねできない商品を作りたい」と話す阪本社長



鹿児島しゃつ
価格9,612円(税込)
サイズ：M(39-82) L(41-84) LL(43-86)

プレゼントコーナー

鹿児島しゃつを2名様にプレゼント。

※ご希望のプレゼント記号 [A(白)またはB(青)] とサイズ (M、L、LL) を記入してください。

応募締切 平成28年2月29日(月)

応募方法 ハガキ、FAXまたは電子メールに

- ①「グラフかごしま」に関するご意見・ご感想 ②郵便番号 ③住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥職業 ⑦電話番号 ⑧プレゼント記号・サイズを記入のうえ、下記までお送りください。

ハガキ宛先 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 鹿児島県広報課「グラフかごしまプレゼント係」

FAX 099(286)2119 (件名は「グラフかごしまプレゼント」)

メール h-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp (件名は「グラフかごしまプレゼント」)

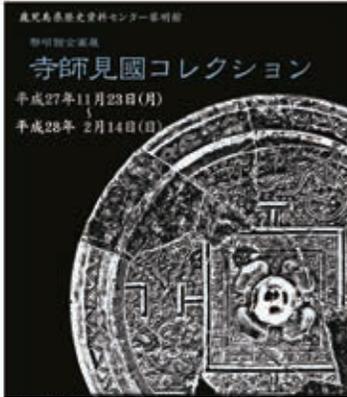
※いただいた個人情報は、プレゼント送付以外の目的には利用しません。
※当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。



高山CHOYAソーイング株式会社
〒893-1206
肝属郡肝付町前田468-3
電話0994-65-0931
FAX0994-65-0939
E-mail info@miraishirt.com
http://miraishirt.com/

広告

黎明館企画展
「寺師見國コレクション」



故寺師見國氏は、戦前から戦後にかけて大口市（現伊佐市）で医師として活躍する傍ら、考古学研究者としても活動し、鹿児島県考古学の基礎を創りました。

同氏が収集した考古資料を中心に、考古学研究とその成果を広く紹介しています。

【期間】2月14日（日）まで

【場所】黎明館3階 企画展示室

【入場料】常設展示入館料

※詳しくは、黎明館ホームページをご覧ください。

【問】県歴史資料センター黎明館
 ☎099(222)5404

くらし

肥薩おれんじ鉄道のお得なきっぷ



肥薩おれんじ鉄道では、お得なきっぷを発売しています。

○「わくわく切符」

土日祝日限定の1日フリー乗車券。

おれんじ鉄道区間（川内駅～八代駅）乗り降り自由です。

【乗車料】大人2,000円

小人・65歳以上1,000円

※平日：大人2,880円、小人1,440円

○「おれんじ鉄道感謝デー」

沿線市のイベントに併せて、おれんじ鉄道区間どこまで乗っても1乗車につき大人300円、小人100円で利用できます。

【対象】ひなぐ雛まつり（八代市）

【日時】2月28日（日）

【問】県庁交通政策課
 ☎099(286)2465

募集

参加者募集！
食業魅力発見バスツアー

県内の食品関連企業を実際に訪問し、普段は見ることのできない現場を見学したり、経営者や従業員から直接話を聞くことのできる「食業魅力発見バスツアー」を開催します。

是非お気軽にご参加ください。（要予約）

【日時】1月20日（水）

午後1時～午後5時30分

【訪問先】（有）徳重製菓とらや（霧島市）

（株）ホテル京セラ（霧島市）

【対象】県内企業への就職希望者

【集合場所】鹿児島中央駅、始良市役所、

国分シビックセンター

※詳しくは県ホームページをご覧ください。

【問】県庁雇用労政課
 ☎099(286)3028

催し

第44回企画展 講演会



開催中の企画展「蘇るSHOKUII～色と飾りに込めた想い～」に関連した講演会を開催します。講演終了後、企画展示室で希望者を対象にギャラリートークを行います。

【日時】1月23日（土）

午後1時30分～午後3時

【講師】熊本県立装飾古墳館

学芸課長 坂口圭太郎氏

【定員】80人程度

（事前申し込みが必要）

【会場】展示館多目的ルーム

【参加料】100円

【問】上野原縄文の森
 ☎0995(48)5701

プラネタリウム
「夢とロマンの星空散歩～冬編～」



冬の星座案内では、オリオン座、おおいて座、こいぬ座など冬の主な星座について、それらのさがし方やエピソードなどを紹介します。

また、創作物語は「オリオンを救え！太郎の大冒険」をお送りします。

【期間】2月28日（日）まで

【時間】午前11時～、午後1時30分～、
 午後3時～（1日3回、各30分間）

【場所】宝山ホール4階 プラネタリウム

【料金】小・中学生 110円

高校生以上 200円

※毎週土曜日は高校生以下無料

【問】県立博物館 ☎099(223)6050

アーティストバンク登録
オーディション参加者募集

本県にゆかりがあり、これからの活躍が期待される優秀な若手芸術家の皆さんをアーティストバンクに登録するとともに、その芸術・文化活動を支援します。

【開催日】2月28日（日）

【会場】宝山ホール

【部門】ピアノ、声楽、管弦打楽器、

作曲等クラシック音楽演奏（個人またはアンサンブル）

※重複した登録はできません。

【応募資格】①鹿児島県出身者および主な活動拠点が鹿児島にある者

②平成28年2月28日現在、20歳以上40歳未満の者

【申込方法】所定の申込用紙に必要事項を記入し、お申し込みください。

【申込締切】1月27日（水）

※詳しくは、下記までお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

【問】公益財団法人鹿児島県文化振興財団
 ☎099(223)4221

<http://www.houzanhall.com/>

科学教室 「マングローブって何だ」



鹿児島はマングローブの自生北限地です。マングローブをつくるメヒルギの生えている環境やおもしろい生き方を観察します。

【日 時】3月20日(日)

午前10時～午後4時

【会 場】鹿児島市喜入生見町愛宕川

【定 員】30人

(2月2日受付開始、先着順)

【参加料】50円

【問】県立博物館 ☎099(223)6050

三浦一馬×松本和将 スパークリング・デュオ



三浦一馬
(バンドネオン)

バンドネオンとピアノによるミラクル・ワールドをお届けします。

【日 時】2月14日(日)

午後2時開演

【会 場】みやまコンセール・主ホール

【入場料】一般3,000円 学生1,500円

※全席指定。未就学児入場不可。

【問】みやまコンセール

☎0995(78)8000

第2回霧島山楽隊 ～銀世界の韓国岳トレッキング～



銀世界の韓国岳トレッキングを楽しみませんか。

【期 日】2月6日(土)～7日(日)※1泊2日

【場 所】霧島自然ふれあいセンター

および韓国岳

【対 象】成人50人程度

(事前申し込みが必要)

【参加費】一人1,500円

【内 容】セーフティ登山ガイド、

雪と樹氷のトレッキング

【問】霧島自然ふれあいセンター

☎0995(78)2815

下野竜也 × 広島ウインド オーケストラ 鹿児島公演



【日 時】4月30日(土)午後4時開演

【会 場】宝山ホール

【入場料】S席3,500円、A席2,500円、

A席高校生以下1,500円

※全席指定。当日各500円増。

未就学児入場不可。

【曲 目】A.リード作曲 アルメニアン・ダンス
全曲 ほか

【問】宝山ホール ☎099(223)4221

かごしま県民大学連携講座 「縄文土器の文様に迫る」



縄文土器の文様について学び、拓本作りに挑戦します。

【日 時】2月27日(土)

午後1時30分～午後3時

【講 師】上野原縄文の森職員

【会 場】かごしま県民交流センター

小研修室第2(東棟4F)

【定 員】45人(事前申し込みが必要)

【参加料】100円

【問】上野原縄文の森

☎0995(48)5701

ファミリーデイキャンプ冬物語



冬でも楽しめる野外炊事やクラフト活動を通して、家族の思い出づくりや絆を深めてみませんか。

【期 日】2月14日(日)

【場 所】県立青少年研修センター

【対 象】家族

【定 員】20組(80人程度)

【問】県立青少年研修センター

☎099(294)2111

広告

かごしまよかとこ巡り
旅ガラスのごとく広い県土
を飛び回り、お薦めの観光
スポットを紹介します。

桜の見頃：
3月下旬～
4月上旬

薩摩川内市 魅力再発見の旅

平成の大合併により、甕島列島を含め1市4町4村(旧川内市および旧薩摩郡の樋脇町・入来町・東郷町・祁管院町・里村・上甕村・下甕村・鹿島村)が合併して誕生した薩摩川内市は、面積では県内最大。薩摩半島の北西部に位置し、豊かな自然や温泉に恵まれた薩摩川内市のおすすめスポットをご紹介します。

春の新田神社参道

1 新田神社・可愛山陵

薩摩川内市宮内町

新田神社は、薩摩川内市街地にある神亀山の山頂にあり、主祭神は天孫瓊瓊杵尊にぎのみこと。かつて薩摩国一の宮として呼ばれた風格ある神社です。隣接する可愛山陵は、神代三山陵の一つ。明治7年に瓊瓊杵尊の墳墓として指定を受け、宮内庁において管理されています。

【所在地】薩摩川内市宮内町
【駐車場】有

新田神社 ☎0996(22)4722



3 川内高城温泉

薩摩川内市湯田町

西郷隆盛もたびたび訪れたという昔ながらの温泉地で、日本名湯百選に選ばれています。泉質は単純硫黄泉でお肌もツルツルに。素朴な温泉宿と土産物屋が並び温泉街はノスタルジックな雰囲気が漂います。

【所在地】
薩摩川内市湯田町

薩摩川内市
観光・シティセールス課
☎0996(23)5111



2 市比野温泉

薩摩川内市樋脇町

江戸時代からの湯治場。薩摩藩主第2代島津光久公から「天下の名泉」と賞賛され、明治時代には歌人の与謝野鉄幹・晶子夫妻が滞り、歌を残しています。泉質は弱アルカリ単純泉で、とろみのあるお湯が特徴です。

【所在地】薩摩川内市樋脇町市比野

薩摩川内市観光・シティセールス課
☎0996(23)5111





4 藤川天神・臥竜梅 がりゅうばい
薩摩川内市東郷町

見頃：2月中旬
から3月上旬



祭神は学問の神様として親しまれる菅原道真公。受験シーズンには受験生や家族連れなどでにぎわいます。境内の梅園には約150本の梅の木があり、地を這うような枝ぶりが竜のように見えることから「臥竜梅」と呼ばれ、国の天然記念物に指定されています。

【所在地】薩摩川内市東郷町藤川
【駐車場】有

薩摩川内市東郷支所地域振興課
☎0996(42)1111

5 蘭牟田池 いむた
薩摩川内市祁答院町

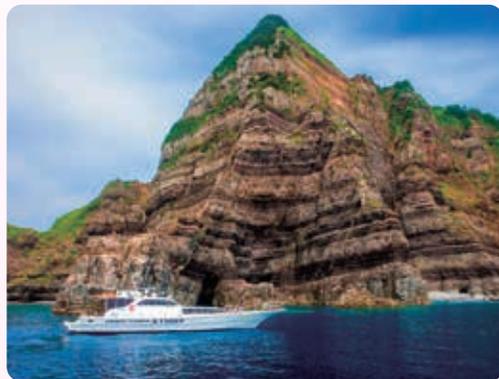
7つの外輪山に囲まれた直径約1kmの火口湖。春は花見、秋は紅葉と四季を通じて、さまざまな表情を見ることができます。希少野生動植物種であるベッコウトンボや水鳥の生息地として、2005年にラムサール条約湿地に登録されました。

【所在地】薩摩川内市祁答院町蘭牟田
【駐車場】有

薩摩川内市観光・シティセールス課
☎0996(23)5111



〈長目の浜 薩摩川内市上甕町・里町〉



〈鹿島断崖 薩摩川内市鹿島町〉

6 甕島 こしき しま

平成27年3月に多様な海岸景観をはじめとした優れた景観などが評価され、国定公園に指定されました。川内港ターミナルから高速船甕島で約50分。8000万年前の地層などから形成される断崖などを巡るクルーズが大人気です。

株式会社 薩摩川内市観光物産協会 こしきしま観光局 ☎0996(25)1140



1月31日(日)

日置市 伊集院総合運動公園



日置市美味しいもの Championship 2015

問い合わせ先

日置市役所商工観光課
☎099 (248) 9409

日置市や県内産の食材を生かしたグルメ料理を美味しく食べて、「美味しい」No.1をみんなの投票で決めましょう!会場内ではフリーマーケットやダンスコンテストも同時開催します。ぜひお越しください。

2月7日(日)

さつま町盆進小学校前町道ほか



宮之城初市

問い合わせ先

さつま町商工会
☎0996 (53) 1141

毎年2月7日に開催。多くの露店が並び、宮之城初市でのみ販売される宮之城人形は大人気の品。商店街では「さつま百縁祭」(100円商店街)が開催され、色鮮やかな鞠のつるし飾り「さつまのささ福飾り」が買い物客を出迎えます。魅力あふれるさつま町へぜひ!

2月13日(土)~14日(日)

南大隅町御崎神社~近津宮神社



佐多の御崎祭り

問い合わせ先

南大隅町教育委員会教育振興課
☎0994 (24) 3164

御崎祭りは、県指定無形民俗文化財で佐多岬の御崎神社の妹神が郡の近津宮神社の姉神に年に一度、新年の挨拶に行くという南大隅町の伝統行事です。ご神幸の途中、七浦と呼ばれる七つの地域でも御崎神社の大神様を迎えての神事が行われます。

EVENTS INFORMATION

イベント情報

2016年

1~3月

JANUARY
MARCH



1月23日(土)~24日(日)

指宿市フラワーパークかごしまほか



第24回いぶすき 菜の花マーチ

問い合わせ先

いぶすき菜の花マーチ実行委員会
☎0993 (22) 5519

初春の息吹を感じながら黄色いじゅうたんのよう広がる菜の花の中を、家族や仲間と一緒に元気良く歩きましょう!コース上では、指宿の美しい景観やエイドポイントでの美味しい特産品、大会を支える市民ボランティアのおもてなしが待っています。当日参加も可能です。

1月31日(日)

薩摩川内市 東郷中学校グラウンド



とうごう天神 梅マラソン大会

問い合わせ先

とうごう天神梅マラソン大会
実行委員会
☎0996 (42) 1573

本大会は、国の天然記念物の「がりゅうばい臥竜梅」の開花に先駆け、菅原道真公を祀る藤川天神で行われます。ゲストによるスポーツ教室や特産品販売、アトラクションもあります。毎年1000人以上の参加者が4コースから距離を選び、自然を満喫しながら走る楽しさを味わいます。

広告

2月下旬～3月上旬

東串良町 豊栄ひっとべ館



ひな祭り さげもん展

問い合わせ先

NPO法人豊栄ひっとべ会
☎0994 (63) 2127

会場には、古布で作られたさがり雛等、豊栄ひっとべデーに通う生徒さんの作品も飾られ、訪れた方々はきらびやかで鮮やかな和の世界を堪能できます。あでやかなおひなさまをご家族や友人と見に行き、日本の芸術文化に触れてみては。

2月13日(土)

伊佐市 大口ふれあいセンター前広場



「氷の祭典」 アイスワールド in 伊佐

問い合わせ先

伊佐市観光特産協会
☎0995 (28) 2600

昨年で開催20回の節目を終え、実行委員会も世代交代して再始動!氷と光の演出で、バレンタイン・イブの夜をアツく彩ります。「鹿児島県の北海道」と称されるほど冬の寒さが厳しい伊佐市ならではのイベントを寒さを忘れて楽しみませんか。

3月13日(日)

いちき串木野市 羽島崎神社



太郎太郎祭り

問い合わせ先

いちき串木野市役所社会教育課
☎0996 (21) 5113

豊作と豊漁、5歳になった子どもの健やかな成長と一緒に願う県内でも珍しい祭りです。「五つ祝い」という祭りが行われ、5歳になった子は「田打ち」と「船持ち」をします。また、田打ちでは牛が登場する田園劇が笑いを誘います。

2月21日(日)

瀬戸内町 せとうち海の駅周辺



瀬戸内町まちづくり フェスティバル

問い合わせ先

瀬戸内町まちづくり実行委員会事務局
☎0997 (72) 2905

自然豊かな大島海峡をバックに開催されるフェスティバル。海鮮・農産物の即売をはじめ高血圧関係の食フェス、ナンコ、さまざまな体験コーナーそしてウォーキング、講演会もあります。「せとうちへ ウモリインショー」

3月20日(日)

枕崎市 枕崎漁港内港



まくらざき春の市

問い合わせ先

まくらざき春の市実行委員会
☎0993 (72) 3341

年に一度の春の市。枕崎漁港の水揚げ場を会場に開催されます。地元でとれた新鮮な海産物や農産物をはじめ、鯉節やお茶など、枕崎の特産品がずらりと並びます。毎年多くの人達でにぎわう春の市は行ってみる価値あり!

2月28日(日)

霧島市 鹿児島神宮周辺



鹿児島神宮初午祭

問い合わせ先

初午祭実行委員会事務局
☎0995 (45) 5111

旧暦1月18日を過ぎた最初の日曜日に鹿児島神宮で開催されます。全国でも珍しく鈴かけ馬と呼ばれる馬の背中に飾りをつけ、首には鈴をつけた馬が踊り連を引き連れて太鼓や三味線などの囃子にあわせて踊ります。春の到来を告げる鹿児島を代表する祭りです。

広告

薩摩藩 英國留學生 同行記

Record of Satsuma Students Travel Companions

パリ 万国博覧会へ 参加

第5回
全6回

参考資料／薩摩海軍史、薩摩藩英國留學生

画／竹添 星児 本文監修／東川 隆太郎



留学生らが英国へ到着してからももうすぐ二年が経とうとしているが、現在の欧州では慶応三（一八六七）年四月に行われるパリ万国博覧会（パリ万博）がもっぱらの関心事となっている。

パリ万博出品と

視察員らの帰国

今年四月に開催されるパリ万博には、日本から幕府と薩摩藩、佐賀藩が正式な出品表明を行っている。薩摩藩の出品はフランス貴族モンブランの助力が大きく、五代友厚らが慶応元（一八六五）年の欧州視察でパリを訪れた際に予備協議を行っていたようだ。五代と新納久脩、堀孝之の三人は、欧州視察や商社設立準備を終えた同年の十二月に日本へ帰国した。

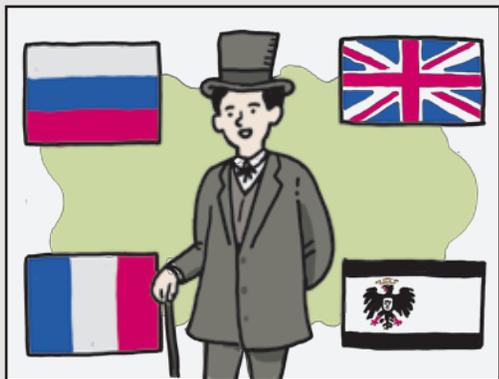
もう一人の視察員・寺島宗則も、イギリスとの外交交渉を行ったのち、翌年の慶応二（一八六六）年五月に帰国の途についた。帰国後の視察員らはそれぞれ薩摩藩の要職につき、今回の経験をおおいに生かしているようだ。

その後、数名の留学生も帰国し、二年目の留学生生活を迎えたのは監督役の町田久成以下八人であった。

二年目の留学生生活 ハリスとの出会い

留学生らは勉学に励むかたわら、英国の議員・オリファントの助力を受けて欧州を旅行し、見聞を広げている。留学生の一人・森有礼はロシアを訪れ、世情を観察し、同じ欧州といっても議論が活発な英国と、帝政を重要視するロシアとの根本的な思想の違いを感じたという。

鮫島尚信と吉田清成はオリファントに伴われてアメリカを訪れ、新生社というコロニーを組織するトーマス・ハリスなる人物と会った。彼らはキリスト教の厳格な教えに従って暮らすコロニーの人々の様子に大きな衝撃を受



留学生らは欧州を訪れ、見聞を広げた。



まちだ ひさなり
町田 久成

(天保9(1838)年 - 明治30(1897)年)
薩摩藩英国留学生の監督役としてイギリスに渡り、帰国後は外国官判事等を務めたのち、文部省博物館を設置。東京帝室博物館(後の東京国立博物館)初代館長を務めたのち、晩年は三井寺光浄院の住職となった。

写真: 鹿児島県立図書館 蔵



なかむら ひろあき
中村 博愛

(天保12(1841)年 - 明治35(1902)年)
薩摩藩英国留学生として英仏留学の後、帰国後は薩摩開成所のフランス語教授に就任。語学に優れ、山県有朋・西郷従道らの欧州視察にも通訳として同行し、欧州各国の領事、公使を歴任した。

写真: 鹿児島県立図書館 蔵



よしだ きよなり
吉田 清成

(弘化2(1845)年 - 明治24(1891)年)
薩摩藩英国留学生として英米留学し、アメリカでは大学で政治経済学を学んだ。帰国後は大蔵省へ出仕し、外国債券の募集などに尽力。米国駐在公使、外務大輔、枢密顧問官などを歴任した。

写真: 鹿児島県立図書館 蔵



パリ万博での外交 日本初の勲章発行

欧州で二年の生活を経た留学生らは、西洋の抱える問題にも気付き始め、各自の進むべき道を模索しているようだ。

欧州で二年の生活を経た留学生らは、西洋の抱える問題にも気付き始め、各自の進むべき道を模索しているようだ。

パリ万博には薩摩藩から家老の岩下方平が全権使節として派遣されており、昨年末に薩摩を立出してフランスへ向かっている。この一行の目的は、パリ万博出品とともに、五代らが用意した商社設立の契約を締結することにある。パリ到着後はまずこの商社設立の協議にとりかかるようだ。

パリ万博は今年四月一日から十一月三日までパリのシャン・ド・マルスで開催され、欧州諸国を中心に、アメリカ、エジプト、中国など多数の国が参加する。薩摩藩にとっては、薩摩焼などの工芸品を広めるだけでなく、世界に薩摩藩が幕府と同等の地位にある雄藩であることを示すための有効な機会にもなる。このためパリ万博での活動準備も着々と行われており、薩摩藩は「薩摩太守政府」という名で出品を行い、日本

初の勲章「薩摩琉球国勲章」の制作も行っているという。モンブランの提言で制作されたこの勲章は、西洋人の勲章好きを利用して薩摩藩の存在を印象づけるためのもので、フランス皇帝ナポレオン三世をはじめ政府高官に贈られる予定である。

日本として初めてとなる万国博覧会の出品は、幕府と薩摩藩の関係にも大きな影響を及ぼすものようだ。



薩摩藩はパリ万博に向けて日本初の勲章を制作した。

※本紙は薩摩藩英国留学生の当時の様子を紹介する企画です。本文中の時間は新暦とします。

次回

米国へ新しい可能性を求めて



子どもがいなくなっても
ずっと続けていきたい

鶴峰西町内会立元班育成会会長

たなか ひろゆき

田中 博幸 さん(54)

現在、立元班に住む小・中学生は合わせてわずか7人なので、この先、白起こしができなくなる恐れがあります。子どもが減ったために、いろんな行事が消えてきましたが、行事は子どもの成長や地域の活性化に大切です。まだ、決めてはいませんが、もし、子どもがいなくなっても大人だけで続けるなどの工夫をして、できる限り、この行事を残していきたいと思っています。



白起こし

かのやし あいらちやう かんみよたちもんどはん
鹿屋市吾平町 / 上名立元班

元日の夜中に行う
事始めの子どもの行事

鹿屋市の南部、吾平山上陵が残る吾平町の中部にある上名立元班。この集落の子どもたちは、元日の深夜から二日の未明にかけて、一輪車を押しながら家々を練り歩きます。これは、一年の福をもたらす「白起こし」という行事。元日に休ませた白を、日付が変わると同時に杵でたたき起こして回り、無病息災や繁栄を祈願する正月の伝統行事です。

「100年以上前から、事始めとして夜中12時から行われていました。次第に子ども数が減り、白や杵のない家も増えたので、夜10時から早め、白の代わりに石やブロックを、杵の代わりに木の棒を使って行います」。こう説明してくださったのは、鶴峰西町内会立元班育成会会長の田中博幸さん。「白起こし」の主役は小・中学生で、その親が育成会のメンバーとなり、行事を見守ります。

「年の初めの黄金のこんつをつきおこす、コタコタコンコン……」。吐く息の白い中、玄関や軒先に置かれた白や石を、棒でたたく音

鹿児島には、古くから受け継がれてきた個性豊かな伝統行事・祭りが残っています。今回はそんな伝統行事の中から鹿屋市吾平町に伝わる「白起こし」をご紹介します。

に合わせ、全員で歌う子どもたち。歌い終えると、お供えの餅やみかんを一輪車に積み、30戸の集落を一軒ずつ2時間かけて回りまです。「子どもの頃は、終わった後にもらった餅やみかんを食べ、みんなと集会所に泊まるのが楽しみでした。今は泊まることはありませんが、親も一緒に食事をしながら遅くまで過ごします。それも楽しみです」と田中さん。餅やみかんは、子どもたちが後日、福祉施設におすそ分けするそうです。

楽しい思い出とともに、少しずつ姿を変えて守り継がれる「白起こし」は、地域のコミュニケーションにも欠かせない行事です。



鹿屋市

鹿屋市

鹿屋市は総人口103,772人(平成27年11月1日現在)のまちです。大隅半島のほぼ中央に位置し、豊富な自然と美しい海岸線を擁する、大隅地域の拠点都市です。写真は鹿屋市吾平町上名にある「吾平山上陵」。全国でも珍しい岩屋の陵で、神武天皇の御父君と御母君の御陵です。「小伊勢」とも呼ばれ正月には初詣客でにぎわいます。